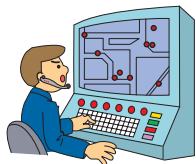


自主防災について

～災害時には防災機関の活動(公助)は困難が予想されます。～

大きな災害が発生したとき、道路が不通になったり、同時に多数の場所で被害が発生し、防災機関の活動の遅れ・分散が想定されます。



～自主防災(自助・共助)で安心できる地域に～

このような事態に備え、日ごろから自分の住む地域のコミュニティに積極的に参加し、連帯感を深め、相互に協力して安心できるまちづくりを目指しましょう。



～いざという時のために、日ごろから地域で自主防災活動を！～

- 防災についての正しい知識について学習しておきましょう。
- 日ごろから定期的に防災訓練をしましょう。
- 情報伝達、避難誘導、救出救護、給食給水、初期消火などの災害時の役割分担を決めておきましょう。
- 自主防災活動用の器材の点検、整備をしておきましょう。
- 災害時、地域内に被害の発生、拡大になるようなものを調べておきましょう。
- 地域内にいる援護の必要なお年寄りや子供、障害のある方(災害時要援護者)に普段から配慮を心がけましょう。

日頃の備え



～避難場所と避難経路の確認を！～

- どう避難するか地形を見て確認しておきましょう。
 - ・地震のあとは、ブロック塀・自動販売機などは倒れやすいので要注意。
 - ・水は高いところから低いところに流れます。道路は流れの強い洪水の通り道にもなります。



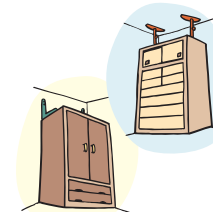
～非常持ち出し品の常備を！～

- いつでも避難できるように非常持ち出し品を準備しておきましょう。
懐中電灯、携帯ラジオ、飲料水、食料品(3日分程度)、救急医薬品、お金、貴重品、衣料品、雨ガッパ、ハザードマップ



～家屋の耐震化や家の中の地震対策を！～

- 家の耐震改修を実施し、地震に備えましょう。
- 家の中の地震対策も重要です。家具の転倒防止対策やガラスの飛散防止対策をしておきましょう。
家具転倒防止金具の設置、ガラス用の飛散防止フィルムの貼付けなど



～浸水への事前対策を！～

- 自己防衛のために、土のうや止水板などの準備を日頃から心がけましょう。



～溝や雨水ますの清掃を！～

- 自宅まわりの溝や雨水ますが詰まると、浸水の原因になります。日頃からの清掃にご協力をお願いします。

